

# 令和6年度 自己点検・自己評価公表シート

## 認定こども園 大東幼稚園

### 1、本園の教育目標

きりっとした たくましい子  
やさしく たすけあう子  
おしまいまで がんばりとおす子

本園では、創設以来上記の3つの目標を教育目標に掲げてきています。この精神をふまえて、義務教育やその後の教育の基礎を培うものとして園児の教育に取り組んでいます。園児の健やかな成長には、周囲の環境が大きく作用します。豊かな心情や物事に自分からかかわろうとする意欲や生活態度を培うのも周囲の環境との相互関係によるところが多く、そのための環境整備に努め、その心身が健やかに成長・発達するよう日々実践を重ねています。

### 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

認定こども園教育・保育要領を踏まえて、幼稚園の教育課程の内容を確認し、教職員の共通理解を図って、教育・保育の質を高めていく。さらに保護者のニーズを把握しながら家庭と幼稚園が一丸となり、幼児期の子どもの成長を共に援助することに努める。

### 3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
『教育課程』 『保健管理』 健康や安全に対して、必要な習慣や態度を身につけていけるよう工夫し、計画的な保育を実施しているか。	日々の保育において、主体的な遊びを深く広げられるように、日常の子どもの姿から保育計画を立て、その時に合わせて環境を整え、保育を進めることができた。 毎日、子どもの姿や遊びの記録をもとに、職員間で話し合いを重ねて保育を進めた。 日常の健康観察や感染症を含む、疾病予防のための取組を積極的にすすめるとともに、家庭や医療機関等とも日頃から連携をとるように努めた。
『特別支援教育』 『組織運営』 組織的な運営を推進し、保	特別支援が必要な園児の保護者と連携をはかり、家庭、園、療育施設と積極的に情報交換をして、保育を提供するように努めた。医療・福祉・臨床心理士など専門家の見解、ア

護者と連携し、個々の園児に対して細かい指導に心がけているか。	ドバイスを受けたり、研修にも参加したりして、障がいに対する理解を深め、保育支援につなげている。教育目標等の達成に向けた活動や園務分掌等が円滑に機能できた。
『情報提供・学校評価』指導計画を振り返り、評価・反省を行いつつ、園の情報を積極的に公開しているか。	園に関する様々な情報の提供をホームページやインスタグラムの活用など広く周知した。また、毎日の園での子どもの姿をドキュメンテーションで保護者に公開した。公開保育を行い、他校種の先生方から色々な意見を頂き、全教職員が学校評価に関与しながら、振り返りをおこない教育の質の向上に向けた取り組みをすすめた。
『子育て支援・預かり保育』地域や保護者の実情や要望を把握して、これらにしっかりと、こたえられているか。	地域や保護者の実情や要望にこたえて支援活動をし、預かり保育を受け入れる体制を整えた。また、子育てにおける相談機能や未就園児「ひよこ組」を充実させた。
『教育環境整備』 『安全管理』 園庭や保育室を中心にして園児の過ごす環境について、安全でより充実するよう進めているか。	避難訓練を定期的に行い、警察や消防に助言をいただいている。また、施設・設備の安全・維持管理のための点検の取り組みを進め、施設、設備を十分活用し保育にあたるように努めた。また、遊具、用具、図書等の整備も計画的に進めて、保育・生活環境の充実のために取り組みを推進している。

#### 4、学校評価の具体的な目標と、その総合的な評価結果

個々の教員がそれぞれの目標を持って、幼児教育・保育の重要性を認識しながら自己評価し、さらに公開保育を行い他校種の先生からの意見も頂き、幼稚園の教育方針や課題を明確にする方向へつながっていった。今後も客観的な目で教育、保育を振り返り、更に充実した実践ができるよう努力をする。

#### 5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
『保健管理』 『教育課程』 健康や安全に対して、必要な習慣や態度を身につけていくよう工夫し計画的な保育を実施している	健康、保健に関して、家庭や医療機関市町村等と連携をとりつつ、園児にも意識づけを図り、日常の健康観察や疾病予防のための取り組みや健康診断を計画的に進める。 認定こども園 教育・保育要領にそって幼児の発

か。	達に即した指導に努め、日々の保育において、ねらいを持った保育を進める。
『特別支援教育』 『組織運営』 組織的な運営を推進し、保護者と連携し、個々の園児に対して細かい指導に心がけているか。	保護者と連携をとりながら、個別の指導計画や支援計画を作成しつつ、医療・福祉など関係機関との連携を積極的にとり、支援教育に努めていきたい。また、臨床心理士と連携をとり、より手厚いケアが出来るよう努めたい。
『情報提供・学校評価』 指導計画を振り返り、評価・反省を行いつつ、園の情報を積極的に公開しているか。	引き続き、園に関する様々な情報の提供を積極的に進め、園だより等保護者への情報提供やホームページの活用など広く周知する。ECEQ を活用し、多方面の先生からご意見を頂き、全教職員が学校評価に関与しながら、改善への取り組みをすすめる。
『子育て支援・預かり保育』 地域や保護者の実情や要望を把握して、これらにしっかりと、こたえられているか。	地域や保護者の要望による子育て支援活動と、預かり保育の充実をはかる。また、キンダーカウンセリング及び育児相談の環境を整える。
『教育環境整備』 『安全管理』 園庭や保育室を中心にして園児の過ごす環境について、安全でより充実するよう進めているか。	園庭や室内の環境について教職員で話し合い、遊びが充実するように幼児の発達に添った環境構成に取り組む。施設・設備の安全・維持管理の取り組みを進める。 定期的な避難訓練を今後も継続実施し、更なる防災意識の向上を図る。

## 6、学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。

## 7、財務状況

公認会計士監査により適正に運営されていると認められる。

令和7年5月24日

## 令和6年度 学校関係者評価委員名簿

学校法人 井上学園  
認定こども園 大東幼稚園

前年度 保護者会会长	中道 貴絵
前年度 保護者会副会長	浅野 陽子
前年度 保護者会副会長	岸川 あゆみ
現 保護者会会长	高島 優紀
現 保護者会副会長	澤田 由美
現 保護者会副会長	坪庭 里奈
現 保護者会副会長	川崎 晴香

## 令和6年度 自己評価（中間）

- ・遊びの中から学ぶことが多いと思うので、子どもたちの遊びが広がる・深まる関わりを意識してきました。しかし、自身の引き出しの少なさも実感しています。日々の保育や研修等の気づきから、質のある保育につなげていきたいです。
- ・新入園児の保護者の方など、手紙だけでは伝わりにくい場面もあったので、状況に合わせた丁寧な関りをしていきたいと考えます。
- ・環境面では、トイレの数を増やせるとトイレ待ちの時間の負担が減らせるのではないかと思います。
- ・元気な子ども達が多く集まったクラスなので集団で活動を促すことがすごく難しかったのですが、最近は少しずつ子ども達が遊んで良い時と今は話を聞かないといけない時が分かるようになってきていてクラスも少しまとまってきたかなと思います。

### 反省点

- ・排泄の際や何か活動に入る際に嫌がったり遊びをやめない子どもに対して注意の声かけが多くなる。子どもが「やりたい」「楽しみ」など思えるような声かけやなぜ子どもが活動に参加したくないかなど考えることが大切だと思うので今後他の先生の保育のやり方も見て学んでいきたいです。
- ・子どもの数に対して部屋が狭いかなと思う。子どもがすごく狭そうに遊んでいる時があったり、子ども同士でぶつかる時が多くあるので、担任の先生たちと話し合い安全にすごせる環境づくりをしていきたい。

### 良かった点

- ・今年はクラスに入り、子どもたちの1年を通しての成長を間近で感じることが出来た。クラスだからこそその良さがあり、小さな気付き（和式でトイレが出来た。給食のお水をこぼさずにいれられた。残さず食べた。）等日々が発見で楽しく、おもしろく保育をすることが出来た。

### 反省点

- ・支援を必要とする子への支援の知識がなかったからこそ、1年を通して、出来ることを増やしたり、挑戦する機会をつくってあげることが難しく感じた。

- ・ホームクラス担当だったので、色々なクラスの子どもと関われて良かった。
  - ・園庭や部屋は常に清潔にして子どもが過ごしやすい環境を作れた。
  - ・今までの経験を生かして子どもが楽しめる遊びや保育が進めやすいように補助出来た。
  - ・子どもの体調の変化にすぐに気付き対応し、次の日に様子を見ながら保育が出来た。
  - ・出来ないことや給食中なども励ましの言葉をかけて出来たり食べたり出来る達成感を味わえるようにした。
  - ・自分の意見を曲げられずに意見を押し通そうとしてしまった為、相手の方に嫌な思いをさせてしまった。
  - ・ホームページやインスタなど取り組みしている事を知りながら携わることが出来なかった。
  - ・個別の指導計画を熟知していなかったので、個別の対応がうまくいかない時があった。
- 
- ・子どもがより遊びこめたり新しい遊びが出来るように保育環境を見直していきたいと思います。  
指導計画を作成したうえで、子どもの様子に合わせて内容を変えられる柔軟性を持てるようにしたい。

- ・行事だけでなく、日頃からもう少し異年齢の関わりを多くできたらと感じました。特にホームクラスを利用しない子は異年齢の関わりがほぼないため、機会を多くすることで子ども自身が色々なことに気付けるのではないかと思います。
- ・出来るだけ子どもたちと関わる時間を持ち、いろいろな事を伝えていけると良いなと思っている。毎日、挨拶だけでなく、その日その日のエピソードなど少しの時間でも話すこと、保護者とのコミュニケーションを大切に、これからも続けていく。
- ・今年の事務分掌では、職員で相談しながら決めた為、上手く分担出来まわっているように思う。来年度もそれぞれ担当の先生方の意見を取り入れながら決めていけたらと良いなと思う。
- ・2学期は、運動会、遠足、お遊戯会と大きな行事をこなす中、それぞれの学年なりに成長がみられた。年長は、3年間の築き上げた力を披露することができ、年中は年少の頃の幼さも薄れ、自覚もめばえ始めているように思う。3学期は、次の学年に向けての準備にはげむよう手助けをしていきたい。
- ・個々の成長に合わせた指導の難しさを改めて感じた。
- ・4月に泣いて登園し、何かをすることが難しかったのが、日々の生活リズムができあがり、出来ることが増え、笑顔で来てくれて嬉しい。
- ・2学期までを振り返ると、各クラス子ども同士の関係も深まり、仲良く過ごす姿もあれば、喧嘩などのトラブルも見られるが、そういった子どもたちが困ることが、無い方が良いではなく貴重な成長の機会となるようにしたい。心配される保護者の方もいらっしゃるので、日頃より保護者の方とのコミュニケーションを大切にし、それぞれの子どもの育ちやその子の課題についても伝えていき、保護者と協力しながら進めていきたい。
- ・同クラスの先生たちと協力し、日々保育を進めているが、うまくまわらなかったり、子どもたちに本当に伝わっているのか不安になることがある。まずは落ち着いて話を聞く練習を根気よく続けていきたい。
- ・保護者への伝達はルクミー、場合によっては口頭でも行っているが、保護者が把握しきれず、行事、イベントに参加できずにいたことがあった。普段から「ルクミーでご確認ください」とまめに伝え、それと共に保護者の皆様にも改めて意識付けをお願いできたらと思う。(忙しいのは承知の上で…)
- ・年少2クラスから年中1クラスになると各クラスの決まりや雰囲気が違い子どもたち自身も戸惑う姿が見られた。年少のうちから交流を持ち、年中を見据えた保育、また年中も年長を見据えた保育が必要だと感じた。
- ・園児全員での関わり、縦の関りが少ないため、ホームクラスを利用していない子どもは異年齢の子どもと関わる事が難しそう。普段から交流を深めたり一緒に遊んだりする時間が欲しい。
- ・子どもたちに伝えたい事はたくさんあるが、あまり伝わっている気がしない。子どもたちに分かりやすく、きちんと伝わる言葉掛けを意識する。
- ・今年、初めての年長担任となり、小学校へ向けて、子どもたちにどう成長して欲しいかをペアの先生と考え、アクティブラーニングが少しでもできるように保育に取り入れました。5月の遠足では、チームに分かれ、見たい動物やどうまわるかななど考えたりしました。小運動会の障害物をするか話し合い決めました。初めは出来なかった子が多かったですが、子どもたち自身が意欲的に努力する姿が見られました。(この取り組みは良かったなと思いました。)

- ・時代の変化とともに保育に求められるのも変わりつつあります。なので、年間カリキュラムなども変革できることがあるかもしれませんと感じました。
- ・異年齢の関わりを日頃の保育でも増やしていき、年中と組体操やリレーをして遊ぶなど、今年度は行ってきました。赤組や年少との関わりも増やしていき次年度もやっていきたいです。
- ・行事や壁面制作など、活動が多くある中で、「子どもの主体性」を引き出しながらの保育が難しいと、今年度は強く感じました。研修に参加し、様々な園の取り組みや遊びを知る度に、「今度クラスでもやってみよう」とは思いますが、結局できずに終わることが多いので、活動に追われていない、余裕のある時を見つけて、子どもの声を聞いていきたいと思います。

# 令和6年度 公開保育 評価まとめ

## 黄組

### ○良かった点

- ・分からぬ字をお友だちや先生に聞くだけでなく、ワークの表を見て書けるようにしているところが良いと思いました。
- ・先生が各グループの中に入って、教えている・一緒に考えている。発表の時間を作つて発表力（表現）と聞く力をつける教育は良かった。
- ・年長さんでメッセージを書くことがすごいと思いました。
- ・お友だちに自分の気持ちをメッセージカードで伝えることで、普段なかなか言えないことも言いやすいところが良いと思いました。
- ・ひらがなを自分で調べながらメッセージを書いて、自由に考えて、書いていることが良かったです。友だちと教えながら進めていることもよかったです。
- ・全員にメッセージカードがいくように、ペアを決めて書くようにしているところが良いなと思いました。
- ・文字が分からぬときに友だちに聞くようにすることで「優しさ」→「ありがとう」に繋がるようにしているところが良いなと思いました。
- ・分からぬことは友だちに聞いてみようや子どもたちが困っている時、どうしたらいいか一緒に考え、ヒントを出しておられるのが良かったです。
- ・先生方の関わり方がポジティブで子どもたちが安心して活動している姿が素敵でした。
- ・子どもたちにどうしてお友だちの名前を書くのかなどユーモアを交えて、説明できているので、これから取り組むことが難しくても「楽しそう」って感じられる（思える）。
- ・自分が思う良いところと他の人から見た良いところが違うことに気付くことができるところが良いと思います。

### ○アドバイス

- ・今日はお部屋が開け放しなので、園児たちの服装では少し寒かったのでは。
- ・書くこと自体が頑張っているので、見やすいように色の薄い画用紙を使ってはどうでしょう。

### ○質問①

「制作や絵画の指導にあたり、子どもたちの主体性（オリジナリティ）を出すために、どういった工夫や取り組みをされているか教えてください。」

- ・自由な表現、自由に書くことを恐れないようにする。子どもに発表と説明の場（時間）を持つ。
- ・行事の後など記憶があるうちに体験画を描くのはどうでしょうか。
- ・お部屋の環境で子どもの視界に入るものが多いうふうに思えます。ロッカーをカーテンなどで覆うなどはどうでしょうか。
- ・例えば顔の描き方1つとっても、様々な表現があること（ピカソ・モディリアーニ、etc）を知る機会

を作るのはいかかでしょう。

#### ○質問②

「もうすぐ進学する子どもたちへ小学校の魅力を教えてください。」

・学校はとても楽しいところです。お兄ちゃん、お姉ちゃん達がとっても優しく分からぬ事を教えてくれます。友だちが今よりたくさんできますよ！

#### ○その他

「子どもたちが座る席は決まっていますか？いつも自由ですか？」

・定期的に席替えをしていますが、座る席は決まっています。子ども同士で助け合えるよう保育者が考えたり、楽しみになるようにくじ引きで決めたりもします。

#### 桃組

##### ○良かった点

・完成した絵を並べて乾かす時に、子どもの作品を受け取った後に全員に「上手にできました」等の声掛けをしていたのが素敵だと思いました。

・一つ一つの作業を確認しながら進めているところが良いと思いました。

・子どもたちが先生の話をしっかりと聞き、目線も先生を見ている子が多くいた。日頃からの保育が落ち着いているように感じた。

・先生が手のかかる園児さんの対応もしつつ、他の園児さんの対応というか、全体を見られてて「すごい！」と思いました。

・園児さんに筆の持ち方や絵の具使用の注意点をきちんと説明（指摘）されていて良いと思いました。

・手のかかる園児さんが飽きない工夫と対応をされていて感心しました。

・早く描きたい気持ちを抑えて、先生の説明を聞くことができました。

・見本があることで、何をしたら良いかわかりやすいですね。反面、見本通りにできない、見本がないとできないとなつていかないのか気になりました。

・画用紙を2種類用意して、選べるようにしているところが良いなと思いました。

・子どもたちが自由に作品を作っている

・「やり直したい」と子どもが言ったら、次の画用紙も渡しつつ「もう画用紙これで終わりだよ、なくなっちゃったからね」と理由を説明し最後だと伝えている。

・筆の持ち方、使い方をしっかりと見て1人1人教えてあげている。その際「筆さんがかわいそう」や「痛いよ」などの表現で伝えている。

・子どもが塗りたい色で塗れるよう多くの色を用意し、「塗りたい色が来るまで待っててね」と声掛けしているところが良いなと思いました。

・自分の好きな食べ物で気球を表すところが楽しそうだと思いました。

・お友達が書いているのを見せて○○さんはこんなのが書いて上手にできているところを伝えているのが良かったです。

・説明をしている時に、後ろを向いている子を個別に。

- ・はみでないように塗るにはなど年齢に応じた目標（ねらい）を達成できるように説明、見本を示していた。
- ・お絵描きのできない園児に先生が直接ひとつずつ具体的に教えている。
- ・先生の話をしっかりと聞けている事がすごいです。
- ・何度も同じことを説明していなくても理解できているし、ざわざわしていない。毎日の積み重ねができると思っています。

#### ○アドバイス

- ・脱いだスモックをたたまず棚に押し込んでいる子が多くいた。終わった子どもに折り紙をすすめる前に、「きれいにたためたかな？」など確認しても良いのでは…

#### ○質問①

「体の動かし方が苦手な子どもが多く感じます。大繩やサークル遊び等で取り入れるようにしていますがおすすめの運動あそびがあれば教えて頂きたいです。」

- ・音楽に合わせてダンスだったり体操をして体を動かす。
- ・リトミックを多く取り入れジャンプ、ケンケン、亀（うつ伏せで自分の足を持つ）、止まる、片足で止まる、ブリッジなど音に合わせて様々な部位を使ってできるリトミックを継続して行うのはどうでしょう。

#### ○質問②

「小学校選択制において、一部の保護者の方が悩まれており、相談を受けています。どのようなアドバイスが望ましいか教えて頂きたいです。」

- ・実際に自分の目で学校を見ることと、自身で情報を集めることだと思います。
- ・選択が増えるということは、悩むことも増えると思います。（私も悩みました）子どもの仲良い友だちは皆もう一つの違う学校だったからです。私は娘に最終的に決めさせました。  
仲良い友だちはいないけど元々予定通りの学校に進みました。（子どもの本来持っている力と柔軟性を感じました）今では、学校に楽しく行って悩んでたのが嘘のようです。子どもに選ばせてあげては？

#### ○その他 1

- 「ロッカーのごちゃごちゃは子どもたちに説明する時に子どもたちは気にならないでしょうか。」
- ・年中になり自分の持ち物は自分で管理する練習をしています。あまりにも片付いていない時には声を掛けています。

#### ○その他 2

- 「担任の先生お二人のうち一人の先生は主に気になる子につかれておられるのですか。」
- ・副の先生か全体補助と主担任の指示で動くことが難しい子どもの補助をしています。常に誰か一人に

つくのではなく活動に応じて対応しています。

### 青組

#### ○良かった点

- ・まだ椅子が見つけられていない子に、他の子どもたちが「ここ空いているよ」と声を掛けていたのがクラスの仲良さを表していると思います
- ・動物の名前や鳴き声が絵と一致するような遊びで楽しみながら覚えられるところが良いと思いました
- ・子どもたちがとても個性のあふれる色の塗り方で良さを感じる  
ゲームもみんな楽しんでいた
- ・真ん中で言う時に座っている子がワイワイしていると、声が聞こえるように「お友達が言うよ」と声掛けをしたところや、先生の一声で静かになっていたところがすごいと思いました
- ・ゲームの途中でもルールを確認したり、楽しくゲームに参加できるように座れなかつた子に譲つてあげていた
  
- ・廊下を走っているお友達に「走ったらあかんで！歩きや！」と子ども同士で声を掛けあつっていたのがすごいなと思いました
- ・園児さんたちがお利口さんで、先生のお話を聞けて感心しました。うるさくならない程度での自由な発言を出来ている点も良いと思いました。  
園児のひとり言のようなセリフも聞き逃さず、みんなに良い点としてほめていた所はとてもよく思います。園児さんがたくさん笑顔があって、とても楽しいクラス運営をされていると思いました。
- ・先生が実際に手本を見せるることは当たり前かもしれません、良いことだと思います。その中で1つのやり方が難しければ、別のやり方も一緒に教えるのは良いなと思いました  
後は、園児に教えたことを確認しながら進めるのは良いなと思いました
- ・名前を呼ばれて絵を取りに行くまできちんと座っている。取りに行くときは椅子を机の下に入れていたことがすごく良いです
- ・先生が一人ずつ配布物を名前を呼び配っていると、しっかり返事をし自分の座っていた椅子をきちんと机の下にしまってからもらいに行っていた。当たり前のように行動していくすごい
- ・子どもが制作の時に良い方法を言ったら聞き逃さず先生が全体に発信していた

#### ○アドバイス

#### ○質問①

「歌を歌う時に「大きなお口で優しい声」と伝えていますが、大声で叫んでしまいます。  
良い声掛けや方法があれば教えてください。」

- ・先生が穏やかに話されていらっしゃるので、先生が大声を出さずにそのままの穏やかな口調で伝えていたら、大声で歌うのもなくなると思います。気長にいきましょう。

きっと子どもたちは今は大きい声で話す（歌う）のが良いと思っているかもです

・大声で叫んでしまうと聞く人がびっくりするから優しい声にしない？と伝えてみる

・優しい声で話しかけたい相手（例えば赤ちゃん）を想像しながら歌うのはどうでしょう

## ○質問②

「異年齢で一緒に遊んだり給食を食べたりして交流をしています。他園さんで取り組まれているおすすめのゲームや取り組みを教えてください」

・5歳児が低年齢の着替えを手伝いに行く

・ごっこ遊びや混合リレー

・ドッヂボールやサーキット遊びなど、少しルールのある遊びを取り入れてみる

## 緑組

### ○良かった点

・音楽と動作で園児たちの合同協力を合わせているのは良い（集中力）

・作業の説明の時間を短くしている

・色塗りに使う色は何色でもよいと、子どもの自主性が尊重されていた

・時計が分からない子どもでもわかりやすいように工夫されている

・カラフルに塗り分ける画伯がたくさんいましたね！座席（周りの子ども）にも影響されているのだろうと思いました。

・きれいな塗り方を説明するために半分塗らずに見本を見せていたところが良いと思いました

・子どもたち先生の話をしっかりと聞いていた。集団の中で同じことを行う中、難しさを感じる子どもがいたが、丁寧に関わっていた。

・手にクレヨンがついているのを子どもが先生に見せた時「がんばった証拠だよ」と伝えていたのが素敵でした。

・先生たちがどの子どもの声掛けにも反応して、楽しく作業ができるようにしているのが良いです。  
遅くなっても最後までやり切れているのが良いと思いました。

・好きな色で塗れるように「何色でもいいよ」や子どもの声を拾って「はみ出でないね」「♡の形もいいね」など、今から自分たちがどのように塗ったら良いかが分かりやすいように見本を示していたところ

・はみ出さずに色を塗れるように半分色を塗らずに、前で声掛けをしながら塗っているところが良いなと思いました

・自由に色の塗り方などで自分の思いを表現できていると思います。

・先生方の声掛け、見守っている姿で子どもたちが楽しく制作を進められていると思います。

・楽しそうにみんなでお話しながら制作していた

・せんせいも園児の発言にしっかり返事をしていた

・時間を時々声掛けし、意識させている

・少し輪から外れてしまう子どもに対していろんな工夫をされていて輪に戻れるようにしている所

・「〇〇さんお引越し」と3歳児でもわかりやすい言葉でゲームを進めていたのが良かった

- ・フルーツバスケットより、子どもになじみのある動物バスケットはとても良い
- ・お道具箱にクレヨンなどを取りに行く際、前後半に分けて、お道具箱前で混雑しないようにしている

## ○アドバイス

### ○質問①

「色の名前を覚えるのが苦手、分からぬ子どもに対して楽しく覚える方法はありますか？」

- ・歌「どんないろがすき」を歌うや色画用紙など分かりやすいものを使って毎朝歌う
- ・各クラスの机に緑組は緑色、桃組は桃色など付け色を見る機会を増やしてみる
- ・色への興味は個人差が大きいと思うのでその子が好きな物の色から自然と覚えられるように  
(これは消防車の赤だねなど)関連づけて声を掛ければどうでしょう。また、遊びの中で触れられるよう色鬼やフルーツバスケットの色バージョンを取り入れればどうでしょう。
- ・色のカードを使ってゲームをしながら伝えていく
- ・色、形は個人差があると思う。好きな物(果物、野菜、乗り物、動物)などの絵を見せて覚えてもらう

### ○質問②

「準備や着替えに時間がかかるてしまい、声を掛けても目安の時間を伝えてもなかなか進みません。  
年中、年長に向けてどのように指導していくべきですか？」

- ・準備や着替え。ゲームで上着を着る、脱ぐの競争を取り入れてみては
- ・一日の流れを朝、子どもたちに示して見通しをもって行動できるように促す。そうすることで良いことがあると経験して学習する、の繰り返しでしょうか。  
先生に声を掛けられて動くことがあたりまえになると、声を掛けられたら動く、という誤学習が成立してしまうので、できたことをほめる方が効果的です
- ・ある程度着替えが終わった子どもが出てきたら、次の活動で使うものを見せたり、終わった子どもから見せたり着替えが終わったらできるということを知らせていくのはどうでしょう
- ・よーいどんでお着替えスタート、とゲームのように楽しみながらしていく

## 赤組

### ○良かった点

- ・今から何を作るのか、前で作って見せていてわかりやすいと思いました。
- ・見本を大きなボードで見えるようにしているところが良いと思いました。
- ・完成図を大きいボードに見えやすいようにしているところが良いなと思いました。
- ・一人ひとりに声をかけて、集中するようにしていたことが良かったです。
- ・2才児さんなのに、お利口に活動されていて驚きました。

- ・見本が小さいパートの時、一人ひとりが見えるように子どもの前まで持って行って、見てない子どもには見るよう声掛けをしているところが良いなと思いました。
- ・おひなさま、「これなーに」と尋ねて集中力をつけている。
- ・説明にトントントン・ジャブジャブジャブ・バアバアバーンと音をまじえて園児を集中させている指導が良い。
- ・各テーブルに先生がいることでみんなに目がいきとどきやすくなると思いました。
- ・のりの塗る位置を丸でわかりやすいようにマークをつけたり、しっかりとくように言葉掛けをしているところが良いと思いました。
- ・「お椅子ガッチャンしようね」の声掛けをすると、子どもたちが立った後に椅子を入れていて、日常からこのような声掛けを行っているんだなと分かりました。
- ・しっかりお片付けしてから、次の遊びなどをしていてすごいと思いました。

### ○アドバイス

- ・言葉をたくさん覚えていく時期なので、見守るのも大事ですが、先生方も、笑顔や笑などももっと入れて、もっとたくさんおしゃべりしてください。
- ・プライベートゾーンは大切なことを小さい時から伝えていけたら良いなと思いました。
- ・制作を始めるまで、少し待つ時間が長く感じたので、早く準備できた子どもに対して、楽しく待てるようにした方が長く椅子に座っている子どもが椅子から降りたりしないのかもと感じました。
- ・今の時代、男の子は水色、女の子はピンクと言うことを伝える事は難しい。今回はおひなさん制作という事でお話されていましたが・・

### ○質問①

「扉を開ける、スプーンを持つ、じっと椅子に座るなどの基本的生活に必要な筋力をつけるために何か良い遊びがあれば教えていただきたいです。」

- ・体幹が鍛えられるようなサーキットあそびを取り入れてはどうでしょうか？
- ・椅子は、あえて背もたれのない所に座ったり、体幹を鍛えられる遊びを取り入れたら良いと思います。
- ・指先遊び（トングで物を摘まむ）（小さい穴に紐を通す）などをたくさん取り入れてはどうでしょう・・・
- ・座布団を使わっていたので、椅子と大きさが合わず、すべっていて座れない状況があるのかも・・・椅子をかえる事で、体幹が鍛えられるかも・・・
- ・椅子にじっと座るのは常に言い聞かせだと思います。
- ・手の力は、うんていとか、ボールを握ったりとかする運動はどうですか。

### ○質問②

「どうしても楽しい方へとつられてしまう子どもがいます。（例　トイレに行くのが嫌なわけではない子どもがトイレへ行き渋っている子どもと走って遊んでしまうなど）なにか良い誘い方はありますか？」

- ・出来的子どもを褒めてその子どもが次の活動に楽しそうに取り組めるよう楽しいもの、子どもが好き

な物を準備しておくのはどうでしょうか？

- ・先生が「よーいドンと」一緒にいってあげればどうでしょうか。
- ・この時期の子は楽しさにつられてしまい、つい先生方もそちらに目がいってしまうと思いますが出来る子を褒めそちらに向いてくれるといいですね